

4月から小・中学校の学習内容が大幅に変わります！ 学習指導要領の改訂に伴い、新年度から移行措置がスタート

文部科学省は、昨年3月に小・中学校の教育課程の基準となる新しい学習指導要領を告示し、6月には現行の学習指導要領から新学習指導要領に移行するために必要な措置（移行措置）について公表しました。

それによると、小学校は平成23年度から、中学校は平成24年度からそれぞれ新学習指導要領が全面実施となります。また、平成21年度から移行措置として、学習指導要領の総則や道徳、総合的な学習の時間、特別活動については、新しい学習指導要領の規定を先行実施すること、「算数・数学」と「理科」は一部を追加または適用して先行実施することになります。他の教科については、移行期間に各学校の判断で新学習指導要領による実施ができることになっています。

現行の学習指導要領に対する反省に立った改訂

現行の学習指導要領の特徴

- 現行の学習指導要領は、「詰め込み主義」と評された以前の学習指導要領の反省から、「ゆとり教育」を目玉に学習内容を3割程度削減したものであった。
- そして、ゆとりある中で「生きる力」を育成するという理念の基に、教科の学習内容や授業時数を減らし、「総合的な学習の時間」を大幅に増やしたことが特徴であった。

新学習指導要領の目指すもの

- 学校教育では、ここ20～30年にわたって「ゆとり教育」をキャッチフレーズ（宣伝文句）に学習指導要領が改訂されてきました。今回の改訂では、子どもたちの学力が低下傾向にあることや、いじめや不登校等の問題を抱えている義務教育の在り方について検討され、子どもたちの学習内容に関する教育課程の基準を大きく転換する新しい方向付けが示されました。
- これからの学校教育では、「確かな学力」に支えられた「生きる力」を育成することが重要であり、「確かな学力」と「豊かな心」そして「健やかな身体」の三位一体の育ちを図っていくことを通じて、子ども一人一人に个性的で全人的な成長を実現していくことを目指したものとします。
- 子どもたちが、社会に出てからも自らの人生を生きていく上で基盤となる「豊かで強靱（じん）な総合的人間力」としての「生きる力」が身につくよう、学校教育を通じて努力していくことが期待されています。改訂の骨子と学習内容等の特徴は下表のとおりです。

新学習指導要領の骨子	関連する学習内容等の特徴
(1) 現行学習指導要領の「生きる力」の理念を継承し、それを支える「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな身体」の調和を重視する。	現行の「ゆとり教育」を転換して、学習内容を増やすとともに、授業時数（授業時間数）を増やす。
(2) 知的活動やコミュニケーションの基盤となる言語活動を充実する。	① 国語に限定せず、全教科を通じ充実を図る。 ② 小学校高学年（5・6年）において、外国語活動（英語活動）を必修化する。 ③ 中学校英語科で扱う単語を、約900語から約1,200語に増やす。
(3) 授業時数を増加し、特に理数教育を充実する。	① 30年振りに、授業時数を増やす。 ☆ 小学校の低学年で、週2時間増やす。 ☆ 小学校の中・高学年で、週1時間増やす。 ☆ 中学校で、週1時間増やす。 ② 算数・数学では、前回の改訂で削減した内容を復活し、小中合計で約15%時間を増やす。 ③ 理科では、約23%時間を増やす。
(4) 伝統や文化に関する教育を充実する。	教育基本法改正の趣旨を盛り込む。 ① 中学校音楽で、唱歌を復活する。 ② 中学校保健体育で、男女共に武道を必修にする。 ③ 小学校国語で、ことわざや故事成語を指導する。 ④ 中学校国語で、古文や漢文の音読など古典に力を入れる。
(5) 道徳は「道徳の時間」を要とし教育活動全体を通じて充実する。	① 道徳主任の教諭を道徳教育推進教師とし、各学校の指導体制を充実する。

学習内容や授業時数を増加した背景

新しい学習指導要領では、現行の学習指導要領よりも小・中学校全学年の学習内容を大幅に増やし、それに伴って授業時数（授業時間数）も増やすことになっています。

今回の改訂で授業時数を増加した背景としては、国際的な学力調査として注目を浴びている「国際数学・理科教育調査（TIMSS）」や「学習到達度調査（PISA）」の結果が影響しています。

これらの国際的な調査の結果から、我が国の児童生徒の学力が以前に比べて低下傾向にあることが浮き彫りになりました。更に、文部科学省が昨年度から実施した「全国学力・学習状況調査」の結果からも、学ぶ意欲や学習習慣についての課題が明らかになりました。

このようなことから、これまでの「ゆとり教育」についての見直しと反省がなされ、今回の改訂では学習内容を増やすなどの方向転換になったものと考えられます。

用語の解説

○ 「国際数学・理科教育調査（TIMSS）」

① 国際教育到達度評価学会（IEA）が、小学校4年と中学2年生を対象に、4年毎に行っている国際比較教育調査で、平成15年以降の調査は「国際数学・理科教育動向調査」という。

② 学校で習う内容をどの程度習得しているかを見るアチーブメント・テストである。

各国では、教育方針の樹立等にこの国際的な調査結果を活用している状況である。

○ 「学習到達度調査（PISA）」

① 経済協力開発機構（OECD）が、3年毎に実施している国際的な生徒の学習到達度調査である。OECD加盟国の多くで、義務教育の終了段階にある15歳の生徒を対象に、読解力や数学的リテラシー（「実生活への数学の活用能力」と解する）、科学的リテラシー、問題解決力等を調査するものである。

② 学校で学習した知識や技能の活用能力を見るテストである。

授業時数について

各学年や教科毎の標準授業時数は、学校教育法施行規則で定められています。

小学校は45分、中学校は50分を「1時間」として計算し、学習指導要領で、授業は年間35週（小学校1年生は34週）以上行うよう求めています。

このため、各教科の年間授業時数を35で割った値が、時間割の基準となる週当たり授業時数となります。年間授業時数が35の倍数にならない教科は、学期毎に時間割を変えたりして調整します。

小学校の新学習指導要領による学習内容や授業時数の特徴 算数と理科の内容が増えて、高学年に新しく外国語活動が加わる

小学校の新学習指導要領では、平成21年度から算数と理科を中心に前倒しして実施することになります。算数の「台形の面積の求め方」を5年生で、理科の「物の重さ」を3年生で復活させ、両教科の授業時間を増やしたことが特徴です。

算数と理科以外では、社会科の「47都道府県の名称と位置」を学習するほか、5・6年生の外国語活動は、各学校の判断で先行実施が可能となります。中学校外国語（英語科）とは違い、教科ではありませんが、中学校の英語科との円滑な接続が重視されています。

1・2年生の体育は、週3時間に増えます。小学校の国語と社会科の授業時数は、新学習指導要領が全面实施となる平成23年度に一斉に増やすこととなります。

平成21年度から全学年の授業時数は現行よりも週当たり1時間増加します。新学習指導要領が全面实施となる平成23年度には、1・2年生はさらに1時間増となります。

各領域や各教科の授業時数については、次頁の表をご参照ください。

※ 中学校の学習内容・授業時数の特徴については、次号に掲載します。

町内各学校における保護者への説明と教育課程編成の取り組み

町内の各学校では、昨年3月の新学習指導要領の告示と6月の移行措置の公表を受け止め、今年度に入ってから参観日や学校便り等を通じて、保護者の方々へ新学習指導要領の趣旨や学習内容及び移行措置の公表内容等について説明をしている状況です。

また、小学校が平成21年度から移行期間2年を経て、平成23年度から新学習指導要領が全面实施（中学校は平成21年度から移行期間3年を経て、平成24年度から全面实施）となることを踏まえ、自校における新年度の教育課程の編成、とりわけ学習内容の移行措置について検討し、各領域や各教科の学習内容を明示した年間指導計画を今年度中に作成するべく取り組んでいる状況です。

※ 小・中学校の新学習指導要領（冊子）については、町民の方々の閲覧用として町立図書館にも数冊備えていますので、ご覧ください。新学習指導要領に関するご質問等がありましたら、最寄りの学校または日高町教育委員会管理課（電話 0 1 4 5 6 - 2 - 3 7 2 1）へお問い合わせください。

小学校の年間標準授業時数について

【平成20年度（現行）】

学年 教科等	1	2	3	4	5	6	計
国語	272 (8)	280 (8)	235 (6.7)	235 (6.7)	180 (5.1)	175 (5)	1377
社会	—	—	70 (2)	85 (2.4)	90 (2.6)	100 (2.9)	345
算数	114 (3.4)	155 (4.4)	150 (4.3)	150 (4.3)	150 (4.3)	150 (4.3)	869
理科	—	—	70 (2)	90 (2.6)	95 (2.7)	95 (2.7)	350
生活	102 (3)	105 (3)	—	—	—	—	207
音楽	68 (2)	70 (2)	60 (1.7)	60 (1.7)	50 (1.4)	50 (1.4)	358
図画・ 工作	68 (2)	70 (2)	60 (1.7)	60 (1.7)	50 (1.4)	50 (1.4)	358
家庭	—	—	—	—	60 (1.7)	55 (1.6)	115
体育	90 (2.6)	90 (2.6)	90 (2.6)	90 (2.6)	90 (2.6)	90 (2.6)	540
道徳	34 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	209
特別 活動	34 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	209
総合的な 学習の時間	—	—	105 (3)	105 (3)	110 (3.1)	110 (3.1)	430
外国語 活動	—	—	—	—	—	—	—
合計	782 (23)	840 (24)	910 (26)	945 (27)	945 (27)	945 (27)	5367

注：（ ）内は週当たりのコマ数。

【平成21・22年度（移行期間）】

学年 教科等	1	2	3	4	5	6	計
国語	272 (8)	280 (8)	235 (6.7)	235 (6.7)	180 (5.1)	175 (5)	1377
社会	—	—	70 (2)	85 (2.4)	90 (2.6)	100 (2.9)	345
算数	136 (4)	175 (5)	175 (5)	175 (5)	175 (5)	175 (5)	1011
理科	—	—	90 (2.6)	105 (3)	105 (3)	105 (3)	405
生活	102 (3)	105 (3)	—	—	—	—	207
音楽	68 (2)	70 (2)	60 (1.7)	60 (1.7)	50 (1.4)	50 (1.4)	358
図画・ 工作	68 (2)	70 (2)	60 (1.7)	60 (1.7)	50 (1.4)	50 (1.4)	358
家庭	—	—	—	—	60 (1.7)	55 (1.6)	115
体育	102 (3)	102 (3)	90 (2.6)	90 (2.6)	90 (2.6)	90 (2.6)	567
道徳	34 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	209
特別 活動	34 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	209
総合的な 学習の時間	—	—	95 (2.7)	100 (2.9)	75~110 (2.1~3.1)	75~110 (2.1~3.1)	345~ 415
外国語 活動	—	—	—	—	0~35 (0~1)	0~35 (0~1)	0~70
合計	816 (24)	875 (25)	945 (27)	980 (28)	980 (28)	980 (28)	5576

※ 網掛けの箇所は現行と異なる部分。

注：（ ）内は週当たりのコマ数。

【平成23年度以降（新課程）】

学年 教科等	1	2	3	4	5	6	計
国語	306 (9)	315 (9)	245 (7)	245 (7)	175 (5)	175 (5)	1461
社会	—	—	70 (2)	90 (2.6)	100 (2.9)	105 (3)	365
算数	136 (4)	175 (5)	175 (5)	175 (5)	175 (5)	175 (5)	1011
理科	—	—	90 (2.6)	105 (3)	105 (3)	105 (3)	405
生活	102 (3)	105 (3)	—	—	—	—	207
音楽	68 (2)	70 (2)	60 (1.7)	60 (1.7)	50 (1.4)	50 (1.4)	358
図画・ 工作	68 (2)	70 (2)	60 (1.7)	60 (1.7)	50 (1.4)	50 (1.4)	358
家庭	—	—	—	—	60 (1.7)	55 (1.6)	115
体育	102 (3)	102 (3)	105 (3)	105 (3)	90 (2.6)	90 (2.6)	597
道徳	34 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	209
特別 活動	34 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	209
総合的な 学習の時間	—	—	70 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	280
外国語 活動	—	—	—	—	35 (1)	35 (1)	70
合計	850 (25)	910 (26)	945 (27)	980 (28)	980 (28)	980 (28)	5645

※ 網掛けの箇所は移行期間と異なる部分。

注：（ ）内は週当たりのコマ数。